

1. 開成小学校設置趣意書

設立代表者 龍池 康博

山があり、白い雲の浮んだ青い空がすっきりとみえ、目いっぱい広がる田畑が目いっぱい広がっている風情。日本人の一番大好きな景色であります。つげくわえると海が見え、川があり、富士山があり、農作業、漁業、林業の勤労に汗をかく人々と付近で遊んでいる子供たちの笑顔が付けられると、比べようのない感傷を伴った、なつかしい風景となるのです。

日本人の感性は素晴らしい、自然全体を我事のように思い、考え、自然と共生一体化してきた歴史を積み重ね、八百万神をあげめまつってきた。このことが、よこしまな事を考えた時に「神様がみではるぞ」の一言で日本の悠久の歴史での歴史の中における各時代の教育をほかに真実に学び、一生努め実践に励んでいるという事が、文書遺跡からも散見される。

平安時代には慈田院、足利時代には足利学校、江戸時代には各種校、中央は昌平黉、ちまたには寺子屋などの、時の為政者が帝からまかされた日本の国民を天よりの預かりものとして、しっかりとした人間教育にあたってきた。近代国家になって開成校をはじめとする各学校、実業学校ができあがり、開成時代を索引し、素晴らしい偉人を輩出した。

東日本大震災はこの日本の国にとって、様々な教訓を与え、国の指針の変化をもたらした。東北人を代表とする、全体を見て動く律儀さ、礼節を守り、人のことを自らのことのごとく思い、ルールにのっとって動く。

これは原日本人の特質であり、聖徳太子以前、神代の時代から培われてきた。また、和の文化そして奈良・平安時代の自然との共生の中で過ごし、命を見つめてきた。極楽浄土的死生観、鎌倉時代より武士の生き方と共に培われてきた武士道、侘び、寂び的な道、そこに商人・工業者・農民にも生き方が清潔であり、メリハリがあり、けじめなど、していいこととしてはならぬ草を律する道ができてきた。それらを覆いつくすように、仏教・神道の思想が人々に広まり、日本人的考え方、生き方が生まれてきた。

明治維新 majority の日本人独自の考え方に、西洋よりの植民地化を防ぐべく、和魂洋才的考えと富国強兵的思考に、明治天皇のつくられた教育勅語の26の徳目がプラスされ、「立派な日本人は、貧しい中にも美徳を持った民族だ」と言われてきた。

翻して、先の大東亜戦争（太平洋戦争）後は、日本人の高邁なる現存する各国が独立自尊国家となるという理念を経済一辺倒の特化集中せしめ、エコノミックマニュアルといわれるごとき拝金主義的、利己的な下賤な人々を増殖せしめた。

その健やかに成長してきた日本人気質をゆがめたのが、大東亜（太平洋）戦争の敗戦であった。国それぞれの立場、考え方があったにせよ、有色人種で 5 大強国になった日本人に対する風当たりは強かったのである。

明治維新時よりかなりきつく、軍部の廃止とともに武士道は廃れ、ハードに西欧化・アングロサクソンの文化共産主義文化にまみれてきた。その西欧共産的個人主義の伸長化とともに、日本人の美德をなくし、高度経済成長時は、また、戦前の文化を誇っている人たちが、勤勉・勤労活躍し、日本の名を上げた。しかし今は国の施策の曖昧さによって、勤労・勤勉感がなくなって久しい。

ここで重要なのは、原日本人を復活させ、日本文化の再生であり、教育の再興である。

大東亜戦争終結後、高度経済成長し、GNP 世界第二位の国家になったものの我国は東北大震災を象徴とする未曾有の国家的危機に瀕している。国家としての品格を落とし、国民の道徳的退廃、国民としての自覚の欠如など、日本人のすばらしき精神性がもろくもくずれさり、世界に冠たる長き歴史と伝統にのっとり築きあげてきた秀れものの日本がわざわざ国際連合のとった協定（こども権利条約・男女共同参画・雇用均等法・夫婦別姓など）に比準することにより、日本人の品性をおとしめ世界超一流の教育力をわざわざ低下せしめた。政党政治の墮落、政治家としての資質の悪化、他民族に囲まれた国としての危機管理の欠落、など我国の存在を疑わせるような事実が表面化してきた。これはひとえに民族劣化である。たいへんな時期に遭遇したと思わざるをえない。現在の大人達は国力としての GNP の維持発展と日本国民としての自覚の上に将来の担い手である子供達の育成に心血をそそがねばならない。

学校法人森友学園は創立 60 年の歴史の中で幼稚園単体としての学校法人化第 1 号として学校法人としての幼児教育に他の幼稚園に先駆けて邁進してまいりました。すでに卒業生 20,000 名余が各界で活躍しています。歴史と伝統教育を実践する中で、日本人の『志』と『誠』そして『和』が戦後教育の中で喪失してしまい、幼児教育が大切だといわれながら本来の幼児教育（幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期と位置づけられ、幼児期における教育がその後の人間としての生き方を大きく左右する重要なものであると認識して教育にあたる）を推進してきた幼稚園は少数となってしまった。されど、大多数は保育所の延長となる今、これら少数の幼稚園の中で唯一の歴史と伝統教育カリキュラムを実践するうちに、幼児の成長した受け皿が必要で、その受け皿の中でさらにひと際的人間的成長（すなわち、常に革新の目を持ち innovation いかんることにも疑問の目を持ちつつ motivation 停滞することなく歴史を伝統文化を進化させることが重要である moving）に誘う真の初等教育機関を自らの学園として開設する運びとなった。

この開設により足下の地域社会への貢献とともに、日本人を意識しつつ、アジア人として世界貢献できる人材育成期間ができたことになる。学力・人格とも優れた人材育成には都会の中にありながら郊外を思わせる広域ロケーションの中で校舎やグラウンド、本校の特色である生活教育の場とし

ての諸施設が想像力を豊かにする自然をめぐり配置し、地域の公園や地域の文教施設と一体化した()としての立ち位置となる。

教師は溢れんばかりの情熱を以て子どもたち一人ひとりと向き合い長所を見開き、個性を伸ばするのが使命である。算数力・国語力・歴史・道徳・自然・これも結果を知るのではなく、なぜ、どうなったのかという、プロセスとどういう方法であれば、どうなったのであろうと考えることが、これからの日本にとって最重要となります。

我らは日本国の存在さらには発展とともにそのためには一人一人の日本国民としての自覚を持ち、大いなる志をもって青少年の教育に邁進することを決意した。

孝行・忠節・和順・友愛・信義・勤学・立志・誠実・仁慈・礼讓
俊素・忍耐・廉潔・敏智・剛勇・公平・度量・顧断・勉職

を教育の基本におき、国家国民の善になる国民としての人材開発に主力をおき国際貢献をも視野に入れながら幅広い活躍ができる日本国民をそだてあげていきたい。

ここに小学校を()に設置し、平成28年4月開校することを宣言する。